

一つの事故から3つのBeacons!
(さらにそれ以上のものがあり得る)

2011年11月



ここ数年間のBeaconの愛読者ならば、左の写真に見覚えがあるであろう。一番上の写真は、2007年2月16日のTexas州Sunray近くの製油所の大火災を示す。二番目の写真は、損害の一部を示す。作業員3名が負傷し、製油所は一時操業を停止した。この事故は、(内容が)非常に異なった安全上の教訓を示す三つのBeaconの題材となった：

- **2008年10月**：“氷は使われていない配管を壊し火災をひき起こす。”
- **2010年5月**：“構造支柱類の耐火施工”
- **2011年9月**：“放置設備の危険性”

単一の事故から学ぶことはそれ以上ある。

読者はwww.csb.govにアクセスしValero Refinery Propane Fireの調査に関する完全な報告書を探ることができる。



October 2008



May 2010



September 2011

Beaconは10才!

Beaconは今月で10才!

2001年11月から、Beaconは、プロセス安全の貴重な経験を、言語の数を増やしながら世界中のプラント従業員と共有してきた。現在のダイレクメール名簿には、21,000以上のemailアドレスが載っている。CCPSは、情報を共有し我々の業界の安全改善を可能にしていることについて、メンバー団体、Beaconのスポンサー、Beacon委員会、40を超える翻訳ボランティアに謝意を表す。

知っていましたか?

- ➔ プラントにおける事故やニアミスのどれからも、学ぶことは一つ以上ある。
 - ➔ ほとんど全ての事故に複数の根本的な原因がある。
 - ➔ 事故には複数の二次的要因がある。
- 以下に幾つかの二次的要因の例を示す：
 作動しなかった安全装置や操業停止システム、プラントの乱れを制御する制御システムや手順の不具合、緊急対応システムや手順の不具合
- ➔ 報告されない事故やニアミスからは、何も学ぶことはできない!

あなたにできること?

- ➔ 事故やニアミスを認識する方法、およびそれを調査できるよう報告する方法を心得ておくこと。
- ➔ 事故調査に関わる場合は、調査の完璧さに拘ること。できるだけ多くを学ぶように、根本的原因と二次的要因のすべてを確認すること。
- ➔ 事故調査報告やBeaconを読む時は、学んだ全ての教訓を受入れ、自分のプラントに如何に適用するかを考えること。
- ➔ Beaconに記載の事故のさらなる情報を探ること。Beaconには十分なスペースがないため、省略せざるを得ない!!!

事故ごとに教訓の全てを探し求めること!